

## NIスパン C-902<sup>®</sup>

### ▶ 主な特長

抜群の制御可能熱弾性係数特性

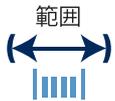
-45から+65 °C (-50 to +150 °F) で一定の弾性係数になるように加工可能

時計や重量測定装置のバネに適す

時効硬化性

重要 御社のご希望に合わせた機械的特性で製造いたします

## お客様への利点



範囲  
0.025mm~21mm  
(0.001"~0.827")



3mから3t (10 ftから6000  
Lbs) までのご注文



納期:3週間以内



御社の仕様に沿った特注ワイヤー



E.M.Sもご利用いただけます



テクニカルサポート

### NIスパンC-902<sup>®</sup> 販売形態

- 丸線
- バー、カット済みワイヤー
- 平線
- 成形ワイヤー
- ロープ/素線

### パッケージ

- コイル
- スプール
- バー、カット済みワイヤー



\*Special Metals Groupの商号

化学組成			仕様	主な特長	Typical Applications
素子	最小%	最大%	AMS 5225 AMS 5221 HS 261  <b>指定</b>  UNS N09902 AWS 080	抜群の制御可能熱弾性係数特性 この合金は、-45~+65°C (-50~+150°F) で一定の弾性率を持つように加工することが可能です。 時計や重量測定装置のバネに適す 時効硬化性	時計や重量計などの精密用途のバネ
C	-	0.06			
Mn	-	0.80			
Si	-	1.00			
P	-	0.04			
S	-	0.04			
Cr	4.90	5.75			
Ni+Co	41.00	43.50			
Ti	2.20	2.75			
Al	0.30	0.80			
Cr+ (Ti-4xC)	7.10	8.10			
Co	-	1.00			
Fe	BAL				

密度	8.05 g/cm <sup>3</sup>	0.291 lb/in <sup>3</sup>
融点	1480 °C	2700 °F
膨張係数	7.6 μm/m °C (20 – 100 °C)	4.2 x 10 <sup>-6</sup> in/in °F (70 – 212 °F)
剛性率	62 – 69 kN/mm <sup>2</sup>	8993 – 10008 ksi
弾性率	165 – 200 kN/mm <sup>2</sup>	23932 – 29008 ksi

### 仕上がったパーツの熱処理

アロイ・ワイヤーからの供給時の状態	タイプ	温度		時間 (時間数)	冷却
		°C	°F		
スプリングテンパー – 一般的に優れた特性	時効硬化	650	1200	2	空気
スプリングテンパー – 最大の安定性	応力均一化 時効硬化	400	750	2	空気 空気
		650	1200	2	
スプリングテンパー – ヒステレシスの最小化、低い熱弾性係数	応力均一化	400	750	2	空気

### 性質

状態	伸張強度 (近似値)		動作温度 (近似値)	
	N/mm <sup>2</sup>	ksi	°C	°F
焼きなまし	600 – 800	87 – 116	-45 ~ +65	-50 ~ +150
			(一定率の応用)	
スプリングテンパー	900 – 1100	131 – 159	-45 to +65	-50 ~ +150
			(一定率の応用)	
スプリングテンパー + 時効処理	1300 – 1500	189 – 218	-45 to +65	-50 ~ +150
			(一定率の応用)	

上記の伸張強度範囲は典型値です。異なったものをご希望の場合はお尋ねください。